

災害と福祉のまちづくり連続セミナー【第2回】

水害から「命を守る」福祉のまちづくり

近年、大規模な水害が頻発し、そのたびに高齢者や障害者など社会的弱者に被害が集中する。水害は進行型災害であり「命を守る」ことは可能な災害です。国は、災害時要配慮者の個別避難計画（災害時ケアプラン）の推進を掲げています。施策が災害時に有用に機能するためには、手段が目的となり形骸化しないように留意が必要です。

また、水害の被災地では、経験を教訓に防災まちづくりに熱心に取り組む地域が多いです。災害から数年経った今、「命を守る」福祉のまちづくりは進んでいるのか、残されている課題は何かを共有し、これからのまちづくりを考える機会として開催します。

(オンライン開催・文字通訳あります)

【主催】日本福祉のまちづくり学会 災害研究・支援委員会

【共催】公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター「障害ラボ」

【日時】

2021年7月10日（土）15:00-18:00

基調講演：

「福祉防災元年—個別避難計画と福祉避難所を中心に—」

鍵屋 一氏（跡見学園女子大学・教授）

基調報告：

①「常総市の水害を教訓とした自主防災と復興の取り組み

～逃げ遅れを防ぐために避難先を自分たちでつくる～

横田 能洋氏

(たすけあいセンターJUNTOS・代表 (認定NPO法人 茨城NPOセンター commons))

②「訪問看護の経験と対応-New normal-倉敷市真備町から」

片岡奈津子氏

(NPO法人そーる・理事長 そーる訪問看護ステーション)

総合ディスカッション

コーディネーター：石塚裕子（大阪大学）

【参加費】 学会員・学生・講演者関係者 無料

一般参加者（上記以外の方） 1000円

【参加方法】

下記のURLの申し込みフォームから申し込みください。

後日、登録いただいたメールアドレスに参加URLを送付します。

<https://eventregist.com/e/jXhVuZ8ncWFM>

【問い合わせ】

大阪大学大学院人間科学研究科 附属未来共創センター

石塚裕子 (y-ishizuka(アットマーク)hus.osaka-u.ac.jp)

本セミナーは科研費「AFNをもつ当事者からのボトムアップによる新しい地域防災体制の構築に向けて（20K20776）」の一環で開催しています。

連続セミナー概要

第1回（2021年3月7日,23日）東日本大震災の被災地当事者の10年」（実施済）

第2回（2021年7月10日）水害から「命を守る」福祉のまちづくり

第3回（2021年10月頃）（仮題）原子力災害とマイノリティ

第4回（2021年12月頃）（仮題）災害の新たな課題への備え

第5回（2022年3月頃）（仮題）誰もが助かる社会に向けて

豪雨災害に備えるガイドブック

災害発生時、避難生活、生活再建
常総市の被災者の取り組みから



たすけあいセンター「JUNTOS」
認定NPO法人 茨城NPOセンター・commons

